

特 文庫10

7259



新聞第十五號

明治五年壬申六月

西垣文庫

西垣文庫

文庫10

7259

者有之候ハ、年寄戸長ハ勿論近鄰ノ者タリトモ夫ニ其
行狀等委詳書面ヲ以可申出旨御布令アリタリ

○杵築縣丸山祐義昨未年同縣永松順造及兵庫縣金場小
平治ト合カシ其地産ノ土島苗ヲ畑ニ蔣テ田エ移シ試ル
ニ生立モヨク收納モ随テ多シ依テ同縣諸村ノ内其仕法
ニ倣ヒ植附ノ者現今百余人ニ至ルト○畑苗代仕法書○
種籾ヲ畑ニ蔣キ苗ニ仕立田地ニ移シ植ルナリ時節常ノ

山口新聞 第... 五號

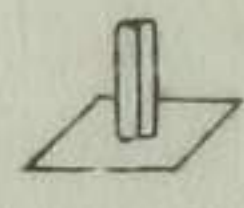


如シ 一苗床ノ畑ハ能ク鋤耕シ糞料ヲ打テ乾シ付土性肥
適宜ヨリ糞料ノ厚薄之ヲ覆土ニ取除ケ置キ跡ノ地所ヲ
板ノクレ割或ハ犁等ニテナラシ彼覆土一斗ニ糶一斗ヲ
交合セ糶子ニテ不同ナキ様蔣キフルヒカケ置ナリ凡ソ
十五歩ニ糶一斗ヲ蔣クヘシ 一糶浸ハ五六日ヲ經芽ノ
サシキル前ヲ宜シトセリ 一蔣月シ上ハ麥稈ノ類ヲ土
ノ見ヘヌ程ニ覆ヒ鳥獸ノ害ヲ最モ能防グベシ 一糶蔣
ハ凡ソ二割計減シ植附テ餘リアリ 一收納一反ニ糶ハ
九斗出來増ニナレリ

○木縣權參事松井清蔭入縣ノ際賀客座ニ滿ソ一人問テ

日本縣ノ産ニシテ官省府縣ニ顯著スル者數百人給金ノ
最モ多キハ阿誰ソヤ參事聲ニ應ジテ曰中村氏ト衆皆頭
ヲ傾ク良久シテ低聲ニ問フ中村氏トハ誰公ゾ參事曰宗
十郎ト一座絶倒ス俳優中村宗十郎ハ原ト本縣ノ産ナリ
現今給金九百五十兩頃日縣下劇場末廣座ニ於テ千代萩
ヲ演ス實ニ絶技ナリト云

○額田縣下三州加茂郡長鈴木利十郎ガ父大垣津音藏近
來三ノ便益ヲ發明セリ第一俵米ノ蟲ヲ除クニ鹽三合ヲ
二袋ニ分チ俵中ニ入レ繩ヲ固ク締メ直シ置片ハ決シテ
蟲ノ生ゼヌモノナリ米洲ニテハ黒海ヨリ輸入スル麥ヲ

殘ラス此ノ如クシテ貯蓄セリト第二燈ヲ點スルニ皿熱
 ゼズ油減ジテ暗カラザルヲ要スルニハ紙ヲ方四分許ニ
 切り真中ニ燈心草ヲ此ノ  如ク糊貼シ皿ノ中央ニ置
 クバ偏照ナク搔立ル勞ナク油減シテ猶耿々たり第三茶
 礎ノ心木ヲ五分断去リ堅ニ螺旋ノ切目ヲ入ル大礎ハ
 四條中礎ハ三條小礎ハ二條太サ礎ノ孔ヨリ細クス此ノ
 如クスレバ轉回輕クシテ風味好シ以テ茶匠玄々齋ニ語
 ル玄々大ニ悟テ曰ク利休以來何トテ長ク因循セシト彌
 來西京一敏茶礎ノ心木ヲ切断シタリト開明ノ時ニ當レ
 バ智巧百現便利千出

○岐阜縣下安八郡神戸村田結宗珉墮胎藥ヲ業トス一日
 一人來リ買フ宗珉何人ナルヲ知ラズ一服ニテ能アリマ
 ストテ賣典セリ日ヲ經テ縣廳宗珉ヲ召ス宗珉何心ナク
 登廳セシニ豈料シ糸彈ニ出タル官人ハ過日藥ヲ賣典セ
 シ客ナリケレバ一言ノ陳辭ナク拳ヲ受タリト其余方縣
 郡黒野村ノ墮胎ヲ業トスル一夫婦及安八郡淺草村ノ醫
 中村隆元モ同ク囚獄セラレタリト
 ○今度開墾社同志輩勢州ノ荻洲範重尾州ノ清水玄平初
 數名蒲草ノ大益アルヲ發明シ開墾培植ノ事ヲ上言シテ
 官許ヲ得タリ近日蒲草開産大意ヲ版刻シ普ク世ニ公布

スベシト其畧ニ云昔大國主太神禿鬼ノ傷ヲ悲ミ之レニ
 水門ノ蒲黃ヲ取リテ以テ療セシム是ニ於テ始テ鑿道ア
 リ尚矣蒲ノ大徳アルヲ頭世人其用ヲ盡サバリシヨリ民
 唯蒲團ノ空名ヲ記シテ蒲草ノ必需タルヲ知ラサルナリ
 方今四海萬國交易ノ道大ニ開ケ五大洲中往來セサルノ
 國ナキニ至レリ然バ物産ヲ盛大ニスルノ急務ナルヲ勿
 論ナレモ其物産ノ中ニ従前無用ナリトシテ捨置所ノ諸
 品ヲ以テ今日ノ有用ニ供センヲ急務中ノ急務ト云フベ
 シ今蒲黃ヲ摘テ綿ニ製スルヲ其用廣大ナリト雖モ世人
 唯其草ヲ以テ筵ニ織リ以テ作ル等ノ外其用ヲ知ルヲナ

シ夫レ蒲ノ性タルヤ山野ノ池沼澤河海ノ洲渚其餘凡
 テ水氣アルノ濕地ハ時候ノ寒暖上地ノ肥磽ヲ問ハズ又
 水旱ニ依テ豊凶ノ患アルヲナク加之田畑ニ開クベカラ
 サル棄地ニモ能繁生スル草ニシテ開墾肥養ノ費ヲ省ク
 ノミナラズ一度植附ル片ハ舊根ヨリ芽ヲ生ジ次第ニ繁
 殖シテ毎年植付ルノ勞モナケレバ是ニ優ル物産アルベ
 カラス殊ニ西洋各國競テ此綿ヲ好ミ價モ隨テ貴ケレバ
 新ニ此産ヲ開テ盛大ニセント云々
 ○縣下丹羽郡羽黒村ノ路傍ニ何カ由縁アリテ梶原景季
 守治川ニテ先登セシ名馬搦墨ノ塚アリ側ニ女竹一叢ア

リ里俗此竹ヲ折取ル者必崇ニ遭フト云頃日一老婆アリ
 此傍ニ女竹數本ヲ持テ煩悶號呼セリ村人之ヲ見テ竹ヲ
 彼塚ニ納メ神酒鹽水ヲ供スレバ立處ニ平愈セリト其實
 ハ此老婆親家ニテ蟹ノテンプラヲ過食シ腹痛セシトナ
 リ兎角僻陋ニハ蠶臭多ク左マデ怪ムニ足ラザル事ヲモ
 大ニ恠ムベキ事トナス甚ダ開化ニ害アリ世ノ人自今必
 胆ヲ居ヘ眼ヲ拭ヒ決シテ疑ヒ怪ムナカルベシ世ニ不思
 議ト云ハ鳶鴉ノ行ホヨリ外絶テアルナキナリ
 ○電信機御施設ニ付テ不用化人事實ヲ了解セザルヨリ
 無根ノ流言ヲ唱ル多シ中國邊ニテハ機線ニハ處女ノ生

血ヲ塗ル故各戸ノ番号ヲ點シ逐次ニ處女ヲ攫シ去ルト
 唱ヘ之ガ爲ニ處女ノ俄ニ齒ヲ染メ唇ヲ卸スアリ又是等
 ノ説ニヨリ機柱ノ本杵及機線ヲ毀損スル徒アリ人心恟
 ニ殆ド頑民煽動ノ勢アリト比來縣下ニテモ或家ノ童男
 ハ行方知レズ或人ノ處女ハ精液ヲ瀉ラレ死セリ等ノ流
 言アリ総テ御維新以來昨日過去ノ事ハ瞭然タル也即日
 眼前ニ在テハ驚怪スベキトマ、アリ則訛言ノ出ルモ亦
 宜ナリト云ハシカ然ルニ某區ノ市長此流言ヲ信ジ管下
 ニ注意スベキ旨ヲ回報シタリト是一時ノ婆心ニ出ルト
 雖モ開明ノ今日漫ニ愚者妄誕ノ説ヲ信ジ報告スル如キ

ハ其愚一人ニ止ラズ衆人ヲ疑惑セムル筋ニテ人ニ長タル者ノ有マジキ事ナリ自今民間ニ翻譯書講讀會ヲモ結社センメ一月六回ヅ、モ俗耳ヲ針砭セバ數會ノ後是等ノ弊自ラ除ンカ

○遠州天龍川ニ牡丹花ノ流レ出ルヤ世ニ聞ユル久シ其一派ノ水源ヲ無人山トス山中ニ京丸ト云所アリ往昔播磨藤原左衛門佐ナル者主從二十五人漂泊シテ此ニ暫居シ一境界ヲ開キ子孫猶在リト傳ヘシガ今度濱松縣戶籍檢査ニ丹同縣第三十五區周智郡ニ編籍シ戸長栗田某等數人荆榛ヲ穿チ此所ニ到リシニ入ル一里許絶境瘠瘡

奇石アリ清流アリ満山皆牡丹花ナリ中ニ茅屋三宇アリ一ヲ宗トシニヲ族トス三戸十四口内八十歳以上ノ者三人アリ戸主藤原忠吉ト稱ス容姿閑雅實ニ名流ノ後ナルニ似タリ又善ク文字ヲ解ス試ニ簿書ヲ示セバ能ク讀ム一書生ノ如シ其業タル山間ヲ鋤テ芋麥ヲ播植シ檐下ニ推草ヲ殖シ前川ニ魚ヲ漁フ獸害多キカ為ニ大材ヲ縛シテ柵トナシ其間ニ耕稼ス三家皆能富メリ各斗斛ヲ積ム即チ牡丹源ト稱シ異邦ノ桃源ヲ壓倒スベキナリ嗚呼皇化ノ光被スル僻境仙界モ逸民隱者モ皆版圖ノ籍ニ洩ル、ナシ況ヤ都會城市ノ人衆苟モ奮發勉強才智ヲ磨勵

セハ顯レザラント欲スモ得ベケンヤ

○國ノ盛否ハ新聞紙ノ多寡ヲ以テモ知ルベシ西洋諸國ノ新聞ヲ尚ブ一壺ニ渴者ノ飲飢者ノ食ノミナラス日耳曼一千七百四十三所皆日刊ナリ英國一千二百五十三米洲六百二十二其他佛瑞等皆二三百數ニ下ラズ其國人智識ヲ廣ムルニ急ニ經濟ニ志篤ク事務ニ勉強スルヲ知ルベキナリ 皇國ニ於テモ方今新聞紙ノ御世話厚ク各地方ニテモ新聞局ヲ開ク由何トゾ西洋諸國ト駢馳スル様ニアリ度者ナリ

愛知新聞第十五號終

六月八日名古屋相場一圓ニ付

藏米	二斗七升五合	糯米	二斗二升五合
大麥	八斗	小麥	三斗八升
大豆	二斗四升	小豆	二斗一升
起炭上	廿七貫目	薪大ヤタラ	百五十束
全中ヤタラ	二百束	白砂糖和上	七斤半
全和下	九斤半	全洋上	八斤半
全洋下	十七斤	大島黑砂糖	十四斤
蜜砂糖上	三十二斤	蠟燭上掛	八百四十目
全古寶	一貫零二十目	全直シ	一貫百四十目

線絲 八百三十目 諸白上酒 二斗九升

全下品 三斗四升五合 分鹽 七俵四分

本伊勢鹽 五俵四分 油 二升四合

味噌大上 十四貫五百目ヨリ 全上八分 四十八貫五百目ヨリ

醬油 十五貫五百目マテ 曾代絲極上 二十九目二分 二百六十四許

○東京米相場 一斗二升五分

今上藏米 二斗五升一合 本局 名古屋本町通二十五町目

津佐倉米 二斗五升一合 同七町目 永樂屋東四郎

備前御用米 二斗五升二合 發兌 同十一町目 萬屋東平

一志郡米 二斗五升 同八町目 菱屋平兵衛